

障がい者福祉だより

■今月はハートフルパス制度について紹介します。

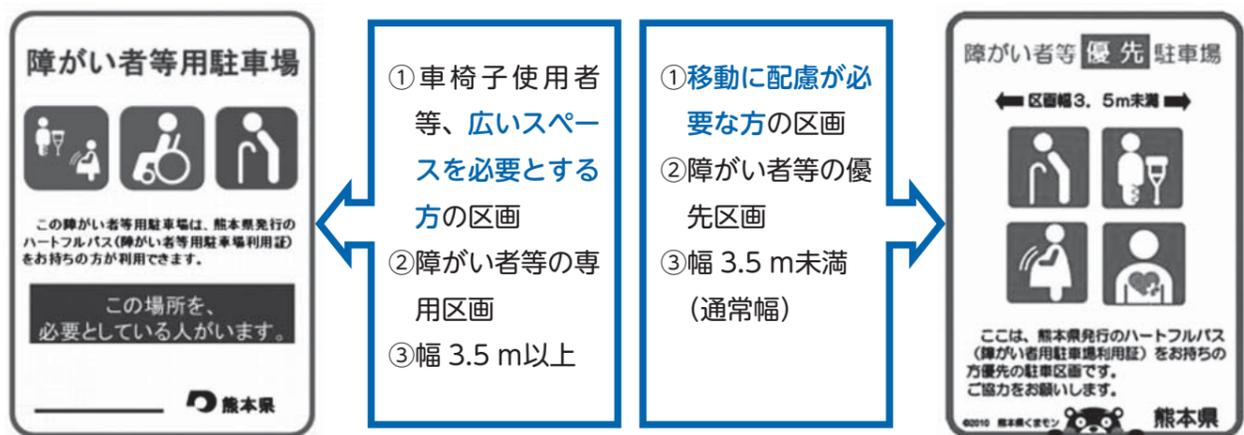
○ハートフルパス制度とは・・・

公共施設や店舗などさまざまな施設に設置されている障がい者用駐車場を適正にご利用いただくため、障がいのある方や高齢の方、妊産婦の方など歩行が困難と認められる方に、県内共通の利用証（ハートフルパス）を交付することで、本当に必要な人のための駐車スペースの確保を図る制度です。

なお、障がい者等用駐車場のうち、幅が3.5m以上ある広めの駐車スペースは、歩行が困難で車の乗り降りのためにドアを全開にしなければならない方のためのスペースです。

不適切な利用をなくし、誰もが楽しく出かけられ、共にいきいきと暮らせる“やさしいまちづくり”を進めていきましょう。

○協力施設の案内表示とそれぞれの違い



車を運転される皆さんへお願い

ハートフルパス利用者の優先駐車スペースですので、必要な方が利用できるよう、ご理解とご協力をお願いします。

ハートフルパスをお持ちの皆さんへお願い

広いスペースを必要とする方（車いす使用者等）以外は、障がい者等優先駐車場のご利用をできる限りお願いします。

3月1日より、山都町にハートフルパスの申請・交付窓口を設置しています。

問合せ先・窓口設置場所

福祉課 ☎ 72-1229

清和支所 健康福祉係 ☎ 82-2112

蘇陽支所 健康福祉係 ☎ 82-1112

※ 原則として、山都町に住民票がある方が手続き可能です。

※ 県庁の障がい者支援課または各地域振興局の保健福祉環境部（保健所）でも、これまでどおり受け付けております。ご都合の良い場所でお手続きください。

わたしたちの人権

160

誰もが人間として生きていくうえで
侵すことのできない当然の権利
これが『人権』です

差別のない町をつくらう・・・ 第23回「5・23差別をなくす山都地区集会」

本年も、5月26日に矢部中学校体育館において第23回「5・23差別をなくす山都地区集会」が開催されました。保育園児や小中学生、保護者、教師など、約500名の参加者がありました。

本集会は部落差別をはじめ、いじめや仲間はずしなどのあらゆる差別をなくしていくことを目的に、子どもたちが主体となり、大人も共に学び合う場として開催されてきました。

よう！という願いを込め、矢部太鼓の子どもたちが、力強いバチさばきを披露しました。

続いて、熊本地震に伴う1分間の黙祷のあと、山都みらい保育園の園児・先生が「どろんこと太陽」「こりのうた」「にんげんっていいな」の3曲を合唱しました。

決意表明では、「解放子ども会中学部」が、これまでの学習や聞き取りを元に作った「教材文を読んで考えてほしい」と発表しました。

次に、矢部中学校2年生

が、昨年の学習から高知での「教科書無償の闘い」のことを発表し、続いて3年生が、「2年間の人権学習と聞き取りで学んだことを、この町や自分のことと重ねることを大事にしてみました。」と発表しました。

参加した子どもたちからの感想発表では、発表を聞いて「人権の大切さ」について思ったことや感じたこと、なぜ参加したのかなど、約40名の子どもたちから発表がありました。

大人の参加者は、子どもたちが会場の前列にずらりと並んだ姿と、純真で力強い発表に感動し、元気ももらいました。

今や、保育園や学校では、この「5・23差別をなくす山都地区集会」を人権学習の集大成として捉え、取り組みを深めています。その成果として、子どもたちは「おかしなことはおかし」と言える力、「差別は絶対許さない」という意識を

確実に身につけています。しかし、同和問題に対する予断や偏見はまだ根深く、差別意識が残っているのも現実です。あらゆる差別意識をなくすためには、引き続き教育・啓発が重要です。この純真な子どもたちの心を汚すことがないよう大人も関心を持ち、真剣に学び、正しい認識を持つことが大切です。

〈集会スローガン〉

- みんな笑顔で楽しい学校 友だちに声をかけよう
- 決めつけをせず 自分で確かめよう
- お互いを認め合う社会を 私たちの手で
- 「部落差別解消法」を実効あるものにしてよう
- 学力保障・進路保障 私たちの未来を切り拓こう



◆「そんな町を」をフィナーレで合唱する子どもたち